

## 多職種訪問チームによる訪問診療、在宅ターミナルケア（第3報）

飯山赤十字病院 訪問看護ステーション<sup>1)</sup> 同内科<sup>2)</sup> 同神経内科<sup>3)</sup>

馬場 万寿子<sup>1)</sup> 古川 賢一<sup>2)</sup> 金子 清俊<sup>3)</sup>

### Home Medical Care and Home Terminal Care by Multidisciplinary Home-visit Team. (The Third Report)

Masuko BABA<sup>1)</sup> Kenichi FURUKAWA<sup>2)</sup> Kiyotosi KANEKO<sup>3)</sup>

Department of Home-visit Nurse Station<sup>1)</sup> Department of Internal Medicine<sup>2)</sup>

Department of Neurology<sup>3)</sup>, Japanese Red Cross Iiyama Hospital

**Key Words** : 多職種訪問チーム、訪問診療、在宅ターミナルケア

#### 1. はじめに

当院は長野県の最北端、豪雪で知られる飯山市にある、病床数240床（回復期リハビリ病棟60床を含む）の急性期病院である。当院の属する北信医療圏は飯山市をはじめ2市、1町、3村で構成され、人口90,641人、高齢化率30.7%（いずれも2013年9月現在）、圏内には当院を含め3病院、42診療所、3老健、7特老、6訪問看護ステーションがある。当院のある飯山市には12診療所しかなく、退院後の患者さんの在宅ケアへの医療資源は特に少ないことから、当院では平成12年11月より医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師による訪問チームを結成、以来地域の中核病院として訪問診療・在宅ターミナルケアを行ってきた。この13年間の活動を報告するとともに、がん患者と非がん患者のターミナルケアを比較検討した。

#### 2. 当院訪問チームの構成メンバー (平成25年8月現在)

医師	4名（兼務）
看護師	8名
理学療法士	2名（兼務）
作業療法士	1名（兼務）
薬剤師	2名（兼務）

#### 3. 当院訪問診療の特徴

- 1) 訪問開始後は、すべて訪問医師が主治医となる。
- 2) 訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、薬剤訪問をセットで提供している。各職種はそれぞれの専門性を活かし、訪問患者を多角的に支援すると共に、本来の仕事に専念する事ができる。
- 3) 医師の訪問診察には、受け持ちの訪問看護師が同行し、情報共有を大切にしている。
- 4) 週1回のケースカンファレンスには、訪問チームメンバーと院内の通所リハスタッフ、地域のケアマネジャーやヘルパー等介護職も参加し、情報共有と医療と介護の連携を図っている。
- 5) 訪問看護は24時間365日対応し、いつでも訪問主治医と連絡がとれる。

#### 4. 13年間の活動状況

平成12年11月から平成25年8月末までの訪問患者総数は811人で、うち死亡や本入所などで訪問を終了した患者数は730人であった。730人について、訪問終了時の状況を見ると、病院での死亡者が314人（43%）、在宅での死亡は245人（34%）、入所等は133人（18%）を占めた。（図1）訪問終了時の状況の年次推